

会報

みらい

発行人 神奈川県
身体障害施設協会
代表者 松永 徹
編集 広報委員
印刷 アガベセンター

contents

相談支援事業における 計画相談の活用と課題	・・・P1
研修委員会活動報告	・・・P1
各大会の様子	・・・P2

相談支援事業における計画相談の活用と課題

丹沢自律生活センター総合相談室 室長 岡西博一

障害者自立支援法や児童福祉法の一部改正により、平成24年4月より相談支援事業の充実が図られることになりました。24年度から26年度までの3年間をかけて、福祉サービスを利用するすべての障害のある人にサービス等利用計画を作成するとされています。この実現に向けては、相談支援専門員がケアマネジメント手法等を用いながらご本人の思いに寄り添い、夢や希望、不安や困り感等のニーズの充足に向けて多職種多領域の関係機関等と連携した支援を積み重ねていくことが必要です。

相談支援事業における計画作成の個別給付は、一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業が各法に規定されています。丹沢自律生活センター総合相談室（以下、「当事業所」という）においても県及び市よりそれぞれの事業所指定を受けています。これらの支援計画は即立案、作成できるものではなく、ご本人との関係づくりやアセスメント、ニーズ整理等を中心とする「基本相談」の過程を経ることがとても重要です。この段階はご本人を中心とした相談支援の基礎となり、また、計画の内容にも大きな影響を与えられます。

一方、サービスを提供する施設や事業所（以下、「施設等」という）にはサービス管理責任者や児童発達支援管理責任者、サービス提供責任者等が配置されており、利用者に対して個別支援計画を作成しています。個別支援計画は、利用者に対して施設等が提供するサービスや支援を具体的に示す役割を担います。これに対してサービス等利用計画はご本人のニーズ全般を充足させていくためのトータルプランとしての役割を担っています。つまり、ご本人を

総合的に支援するにあたっては、サービス等利用計画を核としながら個別支援計画が作成されるという関係になります。計画の連動性を担保する為には、それぞれの計画をマネジメントする相談支援専門員とサービス管理責任者等の連携を欠かすことはできません。これまで以上にサービス等調整会議（個別支援会議含む）の機会を有効に活用し、チームアプローチの力を高めていくことが求められます。

サービス等利用計画が導入されたことにより、この計画がご本人や関係機関に周知されると同時に、相互関係にある個別支援計画も相談支援専門員による第三者的視点が反映されることとなります。この事は、従来、利用者と施設等の間で共有されていた個別支援計画に第三者的視点が加わることを意味しています。ご本人を中心とした支援をよりいっそう高めていけるよう、この機会を職種間で前向きに捉え取り組んでいくことが何よりも大切であると考えています。

最後にサービス等利用計画を推進する上では未だ様々な課題があります。事業所や相談支援専門員が支給決定を見込む対象者と比較して非常に不足しているのははじめ、相談支援事業の基盤は脆弱です。サービス等利用計画は、ご本人にとってより良い相談支援を充足させ、かつ、相談支援の社会的な認知を高めるという点で、その活用は有効であると考えます。この実現に向けて当事業所においても障害のある方々や関係機関との連携を持ってサービス等利用計画の活用の視点を持って相談支援の実践を進めていきたいと思っております。

研修委員会活動報告

シャローム浦上台 施設長 宇都宮明子

第1回研修報告

平成24年10月3日（水）かながわ県民センターにおいて、汐入メンタルクリニックの阿瀬川孝治院長を迎え、「身体障害と統合失調症を抱えた方の対応の仕方」の研修を実施し、28名の参加がありました。

初めに講師により、統合失調症そのものの症状、WHO診断基準、どのような条件があって発症するのか、薬の作用、精神症状の理解の仕方など、パワーポイントや資料を使っての詳細な講義があり、注意をすると暴力に出る方の対応の仕方や精神疾患に遺伝はあるのか、入院はどのような方に必要か等の質問がありました。

その後、第2部では、事前アンケートによる症例を使って、5グループに分かれてのグループワーク形式による検討、発表、評価、質疑応答などを実施しましたが、質問が多く時間が足りない位でした。

特に、最後のまとめにおいて、直接関わる支援側の気持ちの立て直し方、引きずらない影響されない方法、反社会的な発言に対する対応の仕方、自分の意志を発信しようとしないうる対応など

の様々な質問に対して、精神科医の立場からのお話を直接お聞きする機会が出来た事は、職員のメンタル面の研修にも繋がる大変有意義な機会でした。

第2回研修報告

平成25年2月18日（月）ロフォス湘南において、福祉関係職3年以内の職員を対象に「新人介護職のモチベーション研究」の研修を実施しました。

《新人介護職の思いを知り、やる気になる職場づくりのためには何をしたらよいか》

ということで、福祉分野で勉強して来た方、他職種からの転職の方など、今の様々な思いを発信してもらい、どうしたら楽しく仕事を続けられるのかをまとめました。

